

第21回通常総代会 議案書

- 第1号議案 2019年度事業報告承認の件
- 第2号議案 2019年度決算ならびに監査報告承認の件
- 第3号議案 2019年度損失処理案承認の件
- 第4号議案 2020年度事業計画決定の件
- 第5号議案 2020年度収支予算決定の件
- 第6号議案 2020年度役員報酬決定の件
- 第7号議案 議案決議効力発生の件



和歌山高齢者生活協同組合

総代会次第

2020年7月19日（日） 和歌山市立南コミュニティセンター

第1部 総代会

14:00~16:00

1. 議長選出
2. 資格審査委員、議事録署名人、書記選出
3. 資格審査報告
4. 開会挨拶
5. 来賓挨拶
6. 祝電披露
7. 議事審議
 - 第1号議案 2019年度事業報告承認の件
 - 第2号議案 2019年度決算ならびに監査報告承認の件
 - 第3号議案 2019年度損失処理案承認の件
 - 第4号議案 2020年度事業計画決定の件
 - 第5号議案 2020年度収支予算決定の件
 - 第6号議案 2020年度役員報酬決定の件
 - 第7号議案 議案決議効力発生の件
8. 理事並びに監事改選
9. 閉会挨拶

第 1 号議案 2019 年度事業報告承認の件

第 21 回通常総代会をめぐる情勢と課題

昨年 10 月に消費増税がおこなわれ、市民の生活が一層苦しめられています。苦しみをよそに、森友加計問題、桜を見る会や検事総長人事をおもうままにする、政権の私物化が明るみになるばかりです。

公助を減らし、自助・共助を強いる地域包括ケアシステムを打ちだしているにもかかわらず、さらに全世代型社会保障改革をすすめ、高齢者の社会保障を減らそうとしています。独居高齢者世帯がふえ、認知症高齢者が 700 万人を迎えるという時代に、年金、医療、介護の社会保障を切り下げて、その痛みを高齢者、障害者、困窮者に押し付けています。

新自由主義経済で、企業の内部留保は 450 兆円にのぼり、過去最多を更新している一方で、人件費は減少しています。過労死や使い捨てなど、悲惨な立場に追い込まれている多くの労働者がいます。

介護事業所の倒産が過去最多となり、介護人材の確保もが深刻な問題となっています。和歌山県でも今後数年で 4000 人の足りない試算がでています。

安心して老いること、安心して働くことの難しさがますます増えています。

2020 年の東京オリンピックは、深刻な社会不安を覆い隠すための格好の機会と言われていました。団塊の世代が 75 歳をむかえる 2025 年問題にむけて、着々と改悪を進めようとしていました。

2020 年に発生した、新型コロナウイルス肺炎は、大きな社会的インパクトを与えました。

緊急事態宣言に伴い、社会経済活動を STOP させたことによる生活の補償は国の役割であること、社会保障を充実させることを、多くの学者やマスコミが喧伝し、企業も賛同しました。ベーシックインカム（最低所得補償）の推進議論も行われています（世界の事例から、生活や健康の不安が減り、幸福度が上がるといわれています）。

新型コロナは、わたしたち一人一人に本当に必要なものは何かを問いかけました。いままで常識だったものが、そうではないのだと、感謝する機会が増えました。マスク 1 つが手に入らず、備蓄の重要性や、モノづくりの国際化、日本のモノづくり体力の低下を実感しました。

濃厚接触をさけての介護はできず、かつてないストレスに見舞われました。逃げたくても逃げるわけにはいかない、介護福祉職の誇りを強く自覚する機会になりました。

これらは同時に、「何のために誰のために、高齢協は存在していくのか」という問いかけに重なりました。

20周年をむかえ「シニアパワーfor everybody」

20周年をむかえた高齢協。時に設立の趣旨にたちかえりながら、多くの意見を交わしてきました。大きなことができたわけではありませんが、「こういうのがあったらいいんじゃないか」、「これが必要ではないか」、「やってみよう」、そうした声を大切にして、取り組んできました。

東は橋本から南は白浜まで。顔をみてお話する機会が増えました。

つかんだのは、高齢協の設立趣旨がますます必要とされ、その達成がますます困難になっている時代だということ。そこに、一緒に取り組む組合員がいること。なんとかしようという熱量が存在していること。

事業優先に陥った数年がありました。

何のために高齢協が誕生したのか。この20年を通して、失ってきた価値を取り戻し、改めて、核心をつかむことができました。元気な高齢者が、多様な連携をむすび、困っている方の力になる事業活動を、生協組織でうみだしていく。シニアパワーfor everybody。高齢期を安心して迎える、やりがいをもって高齢期を過ごすこと。

汗と知恵と工夫で、よりよい実践を積み上げていく。政治に対して、高齢者の声を届けていく。主体的に学び、人生をいきいきと過ごしていく。高齢協の挑戦に終わりはありません。

一層の、これまでの以上の、ご参加ご協力をお願いし、

明るい高齢期をむかえる実践で、次の20年を切り拓いていきましょう！

第21回通常総代会



設立宣言

和歌山高齢者生活協同組合は、多くのみなさまのご支援と賛同を経て、また、全国の進んだ高齢者生活協同組合の励ましと援助の中で、これからの長寿社会に向かって喜びと感動の人生を、仲間とともに創造していくために、本日ここに結集し、発足する運びとなりました。

私たちは、高齢期とはだれもが迎えることになる人生の完成期であると主張します。多くの高齢者や障害者も含めた、明るく充実した人間尊重の社会を創るためには、高齢者の働きが欠かせない存在であることを自覚し、共に力を合わせ活動を進めていきます。

- 一、 高齢者は「心身共に自立すること」を大切にし、共に支え合おう。
- 一、 高齢者それぞれが「本当にやり遂げたい目標」について語り合い、できることから一步一步進め、その達成に向けて共に支え合おう。
- 一、 お互いの多様性や社会的役割、仕事上の経験や能力を認め合い「持てる力を発揮させる」よう支え合おう。
- 一、 体が弱り、障害をもつようになり、さらには病に伏せる日々となっても、組合員や家族や友が包み込み、悲しむことなく暮らせるように支え合おう。
- 一、 高齢者一人ひとりが人生の完成期を輝いて生き、尊厳をもって終えるようともに支え合おう。

和歌山県の高齢者の皆さま、ご賛同の皆さま、あらゆる世代の人たちと力を合わせ、高齢者にとって幸せな社会を創るため、高齢者生活協同組合の全国的な大発展と結びつけながら、この和歌山からも力強く発信させることを決意し、ここに和歌山高齢者生活協同組合の設立を宣言します。

1999年6月20日
和歌山高齢者生活協同組合創立総会

1 事業・経営

〔1〕 経営目標の到達

○事業高目標	4億1818万円	⇒実績	4億1737万円（99.8%）
○経常剰余目標	225万円	⇒実績	705万円（312.8%）

- (1) 売上4億1737万円（予算比99.8% 前年度比103.5%）、705万円の当期剰余（予算）比313.0% 前年比807.9%）となりました。前年比で1410万円の売上増を達成し、予算を大きく上回る剰余をだすことができました。ワークショップてとて、白浜ぬくもりの里の新規事業によるけん引と、新任所長4名の新しいパワー、本部と全所長との結束の強まりで達成することができました。利用者を中心として、職員の処遇改善と、経営改善の三方良しでの業務姿勢を自主的自発的に続けた結果です。この成果に確信をもち、課題に対する真摯な対応こそが大切だと、みなで学べたことが大きな財産です。
- (2) 2015年開設より赤字の続くやまぐちおたっしゃ館、れくらの改善に本格的に着手しました。サービス体制の刷新がおこなわれ、選ばれる事業所になりつつあります。10月にはれくらの水曜日営業も開始し売上増につながりました。
- (3) 10月開始の特定処遇改善加算の取得により職員の処遇改善が進みました。対象外職員については一時金支給も行い、合計の支給総額は656万円〔給与総額の2.3%〕となりました。
- (4) 全体の15%をしめる事業経費（一般管理費）の見直しに着手しました。無駄の削減にとどまらず、効率性の向上を目標に掲げて、経営の好転換をすすめています。
- (5) 白浜ケアプラセンターが特定事業所加算Ⅱの取得に向けて前進しました。丁寧な説明をへてかみとんだおたっしゃ館家賃改定が問題なく受け入れられました。開設3年目のワークショップてとてが、年間売上で2倍、事業剰余で5.8倍となりました。

〔2〕 共生社会実現にむけて

- (1) わがらカフェ（紀の川市より委託）、ぱんだカフェ（白浜町より委託）の新規開催。認知症の方やご家族と、専門職や地域住民が交流するカフェとして、認知症の方が安心して暮らせる地域づくりに一歩着手できました。にじいろカフェ（和歌山市内・実行委員会）の定期開催をつづけています。
- (2) ワークショップてとてが、買い物代行、付き添い、お助け活動を小規模ながら再開しました。

- (3) 7月全職員研修にて、妻の郷理事長の山本耕平氏（立命館大学教授：当時）を迎え「高齢者生協と妻の郷の協力・相互発展を目指して」の講演をおこないました。
- (4) 拠点を活用した、職員自主サークル（フラダンス）や、レクチャー教室（ペン習字）などがスタートしました。

2 組織・運動

〔1〕 20周年記念事業

- (1) 実行委員会を結成し年間を通じて、①意識づけ②企画実行③話し合いを行ってきました。事業所や各サークル活動と連動しての実施で、組合員参加の掘り起こし、新たな組合員獲得につながりました。
- (2) お助け隊の再開を求める声が多くあつまり、再開集会を開催。「和歌山を元気に！ボランティア支援事業（ライオンズクラブ60周年記念事業）」に応募し、隊員養成講習会を開催しました。
- (3) 日帰りバスツアーや、PCサークル体験など、しばらくできていなかった活動がおこなわれ好評をよびました。
- (4) 高齢協通信をリニューアルし、読みやすくなったと好評を得ました。
- (5) 地域の活動（わがらカフェ、パンダカフェ等）に、職員が参加し、専門性を活かして、認知症予防、人生会議関連（もしバナゲーム）、体力づくりに関しての情報提供を行いました。
- (6) いっぷく亭紀和庵の定期的な活動（週2回）は8年をむかえました。
- (7) どこ竹わかやまは、はじめてのリーダー養成講習会を開催し新たなリーダーが8名誕生しました。
- (8) 白浜、橋本でのイベントは多くの来場者で大成功をおさめました。
- (9) 組合員が企画した2つの国内旅行は好評でした。男+の酒場は毎回元気な集まりでした。
- (10) 20年をへて看板を、補修メンテナンスしました。形を変えず残っているほぼ唯一のものです。

つどい	男+の酒場（月1回） JIAS PCサークル20周年記念体験学習10月 紀和庵・いっぽく亭の開催。生協祭りなど出店
くらし・学び	島根・鳥取を訪ねる旅11月 灘五郎の酒造めぐりと神戸中華街バスツアー12月 司法と福祉の連携って10月 お助け隊隊員募集2020年5月
地域	わがらカフェ（紀の川市）毎月1回 どこ竹リーダー養成講習9月 第39回生協まつりへの出店10月 パンダカフェ（白浜町）3ヵ月に1回
情報	制作（パンフレット、のぼり、看板刷新） 情報発信（SNS活用、ホームページ修正、通信発行） 書籍発刊準備
記念事業	白浜ぬくもりの里1周年イベント6月 伊都夕涼み夏まつり7月 第2回伊都橋本世代間交流フェスティバル11月

〔2〕 命と暮らしを守る運動への参加

- （1） 第33回日本高齢者大会 in 福島、第26回和歌山県高齢者大会 in 有田、第14回田辺・西牟婁高齢者集会、第13回和歌山市高齢者大会などに参加しました。
- （2） きょうされん全国大会プレ集會に、参加しました。映画「星に語りて／夜明け前」の鑑賞
- （3） STOP! カジノ和歌山の會に賛同し、署名を通信にてよびかけました。
- （4） 高次脳機能障害リハビリテーション講習會の実行員會に参加しました。

〔3〕 協同の力で地域創生

- （1） わかやま NPO センターの補助による「白浜地域ファシリテーター事業」では、耕作放棄地が増えている白浜で、イタダリの栽培、加工、販売を通じて、高齢者や障害者の6次産業の仕事おこしを目指し継続的に活動がおこなわれました。収穫した150キロを日置川商工会に納品し、ジャム、フィナンシェなどの洋菓子に変わるなど、多くの可能性が生まれ、その様子が、NHK ニュースで取り上げられました。
橋本地域では、昨年立ち上がった「伊都・橋本地域フォーラム事業」の中心メンバーが、継続的な活動を目指し、白浜に学びイタダリの栽培をはじめています。
- （2） 白浜地域の課題を話し合っ、不安の解消と笑顔が増えることを願って「白浜支部設立準備会」

が発足しました。当面は、いつでも集える自分たちの居場所づくりと、組織づくりを行います。

- (3) 介護現場のマスク不足の際に、和歌山県生活協同組合連合会のネットワークでマスク支援のご協力をいただきました。こくみん共済 CO-OP 様、メルシー生活協同組合様、わかやま市民生活協同組合様、連合会様の友誼に厚くお礼申し上げます。
- (4) 第 2 回全職員研修にて、「協同組合とは何か～その理念と機能、職員のあり方」と題して J A 和歌山中央会の谷口昌明部長に講演をいただき、わかりやすかったと好評でした。

〔4〕 広報リニューアル

- (1) 一部にカラーページを採用し通信の定例発行の再開。組合員の活動に照準をあてた生きた通信に刷新。コロナ禍のおりに、お困りごとをお尋ねし、マスクで困られた組合員さんに少量ながら支援することができました。
- (2) Facebook ページのリニューアルをおこないました。

〔5〕 組合員加入・出資金目標の到達

- 加入到達目標 4 3 6 4 名 (+ 2 0 0 名) ⇒ 実績 4 2 5 9 名 (+ 9 5 名)
- 出資金到達目標 4 0 0 0 万円 (+ 1 1 3 万円) ⇒ 実績 3 9 5 3 万 (+ 6 6 万円)

	前期末	当期加入者	当期脱退者	期末残高
組合員数	4,164 人	140 人	45 人	4,259 人
出資総口数	38,869 口	950 口	286 口	39,533 口
出資金総額	38,869,000 円	950,000 円	286,000 円	39,533,000 円

3 管理・運営

〔1〕 財務状況の強化

- (1) 顧問税理士をむかえた「経営会議」を発足させ、課題分析を行いました。
高齢協に必要なテーマとして「持続可能な発展・事業の継承・生き残りの実現・組合員 4 0 0 0 名とどのように関わるか・意欲をかきたてるには・本業のかせぐ力の強化・自転車操業の脱却」などに中長期的な視野で議論をおこないました。また、外部専門家との労務管理についての定例勉強会も開催し、有給消化義務化に伴う働き方の充実など意識改善をおこないました。
- (2) 本部および事業所の事務体制の全体業務改善プロジェクトが発足。
学習や研究をベースに、給与自動計算や利用料自動引き落としの導入による働きやすい職場づくりに、着手しました。

〔2〕 高齢協連合会企画への参加

- (1) 8月に西日本ブロック会議を和歌山県橋本市で開催しました（10府県より47名参加）。奈良県で若年性認知症者への多彩な支援活動をされている「きずなや」若野達也代表の基調講演。実践事例発表で兵庫高齢協の不祥事からの信頼回復の道のりなど、運営面での貴重な声を共有しました。

〔3〕 新型コロナウイルス肺炎の対応

- (1) 2月29日に対策チームを発足。
信頼できる情報をもとに対策を1つずつ実行。利用者、職員を守ることを最優先にして緊張感のある日々を過ごす。介護事業所の閉鎖や休止報道があるなかで、とまどいながらも、踏ん張って一丸となり通常のサービスを提供し続けました。
- (2) 5月14日緊急事態宣言解除後、行動変容をおこなっています。
法人運営・・・総代会スケジュールの変更。資金繰り強化。
組合活動・・・組合員活動の安全な再開。安心や元気づけ。
介護事業・・・with コロナの感染症対策の継続。オンライン面会導入。
本部運営・・・テレワーク導入。災害時訓練。次の備蓄、対策の準備。
- (3) こうした中で、必要とされる高齢協の姿を、強く意識しました。
例えば、やまぐちささえ愛センターで3月にはじまった手づくりマスク企画は、元気な高齢者が、地元企業の資材協力をえてマスクを制作し、地域包括支援センター、社協、民生委員を通じて、困っている高齢者にマスクを届ける活動が行われました。お助け隊隊員募集、チームゴンパチとあわせ4/3～4/21でNHK含めマスコミ7社、機関誌2誌に掲載されるなど、高齢者の輝く姿は、衆目を集めました。

〔4〕 太陽光パネルの設置

- 災害対応強化として、やまぐちおたっぴ館および白浜ぬくもりの里に太陽光パネルを設置し、停電の際にも電力供給を可能にしました。



4 その他

1 組合の事業活動の概況に関する事項

I. 事業年度の末日における重要な事業活動の内容

事業種目	主な事業品目等
福祉事業	介護保険事業（訪問介護、通所介護、居宅介護支援） 障害者総合支援事業（就労継続支援、居宅介護、同行援護、行動援護）

II. 事業の経過及びその成果

1 事業の経過及びその成果

・総事業高は 417,370 千円（前年比 103.5%、予算比 99.8%）、経常剰余額 7051 千円（前年比 807.9%、予算比 313.0%）となりました。

・各事業の状況は以下の通りです。

(1)訪問介護事業

事業収入が 159,388 千円となり、前年と大きく変わりません。

(2)通所介護事業

事業収入 84,746 千円となり、前年と大きく変わりません。れくらの水曜営業がはじまりました。

(3)居宅介護支援事業

事業収入 51,279 千円となり、前年+2,000 千円となりました。白浜ケアプランセンターの特定事業所加算体制が大きく寄与しました。

(4)障害者就労継続支援事業

3 年目の障害継続支援事業が年間売り上げで 2 倍、事業剰余で 5.8 倍となりました。

(5)その他

かみとんだおたっしや館の家賃改定がありました。

2 対処すべき重要な課題

・いくつかの事業所で正社員の応募がほとんどありませんでした。サービス提供に必要な人員体制の維持および、事業の発展のために体制の確保は重要な課題です。

① 直前3事業年度の財産及び損益の状況 (単位：円)

項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
組合員数	4,031	4,087	4,163	4259
出資金額	35,081,000	38,858,000	38,869,000	39,533,000
福祉事業収入	379,668,130	388,175,575	377,438,806	391,035,540
その他事業収入	25,285,945	26,436,519	25,831,947	26,334,737
経常剰余額	▲11,165,671	▲23,448,969	842,274	7,773,896
総資産	283,075,675	330,885,122	305,202,243	317,435,530
純資産	22,413,814	7,467,100	7,565,374	15,280,770

② 福祉事業の状況

(i) 福祉事業収入の状況 (単位：円)

項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
介護保険事業	298,486,443	299,659,525	295,609,271	295,335,672
介護保険事業以外の事業 (障害者自立支援事業)	81,181,687	88,516,050	81,829,535	95,699,868
合計	379,668,130	388,175,575	377,438,806	391,035,540

(ii) 福祉事業収入の事業所別内訳 (単位：円)

事業所の名称	福祉事業収入	事業所の名称	福祉事業収入
わかやま訪問介護事業所	99,023,557	かみとんだおたしや館	51,034,820
伊都・橋本事業所	38,525,719	和歌山ケアプランセンター	36,108,730
御坊・日高事業所	36,119,176	伊都・橋本ケアプランセンター	4,181,661
白浜ぬくもりの里	53,428,842	白浜ケアプランセンター	10,989,360
れくらん	31,317,202		
ワークショップてとて	30,306,473	合計	391,035,540

(iii) 福祉事業状況表

種類	項目	利用高 (単位：千円)		
		2019年度	2018年度	前年比 (%)
介護保険事業	居宅介護支援	51,279	49,312	104
	訪問介護	159,388	160,803	99
	通所介護	84,796	85,494	99
介護保険以外の事業	障害者自立支援	95,699	81,829	117
	合計	391,035	377,438	103

Ⅲ. 増資及び資金の借り入れその他の資金調達状況

資金調達内訳表 (単位：千円)

調達方法	金額
出資金	664
金融機関	3,571
組合員借入金	▲7,500
合計	▲3,265

Ⅳ. 教育事業等の状況 (単位：円)

項目	金額
当期に繰り越された教育事業等繰越金	0

教育事業等の使途 (単位：円)

科目	内容	金額
研修費採用費	職員教育などにかかる費用	826,001
地域支え合い費用	組合員活動にかかる費用	1,258,255
合計		2,084,256

2 組合の運営組織の状況に関する事項

Ⅰ. 前事業年度における総代会の開催状況

総代会開催日	2019年6月15日	
総代会日現在総代数		100人
出席総代	本人	43人
	書面	33人
	計	76人
(重要な議事、議決事項及び議決状況)		
第1号議案	2018年度事業報告承認の件	賛成多数で承認
第2号議案	2018年度決算ならびに監査報告承認の件	賛成多数で承認
第3号議案	2018年度損失処理案承認の件	賛成多数で承認
第4号議案	2019年度事業計画決定の件	賛成多数で承認
第5号議案	2019年度収支予算決定の件	賛成多数で承認
第6号議案	2019年度役員報酬決定の件	賛成多数で承認
第7号議案	議案決議効力発生	賛成多数で承認

Ⅱ. 役員に関する事項

① 役員一覧表

役名	氏名	略歴等
理事長 (代表理事)	田中 秀樹	現職 H26年6月就任 社会福祉法人一麦会 理事長
副理事長	宇治田 康司	現職 H14年5月就任 社会福祉法人いこい 副理事長
	中 マチ子	現職 H26年6月就任
専務理事	内田 嘉高	現職 H22年5月就任
理事	市野 弘	現職 H27年6月就任 NPO 法人和歌山保健科学センター 理事長
	金川 めぐみ	現職 H28年6月就任 和歌山大学 准教授
	山田 三代士	現職 H14年5月就任 社会福祉法人一峰会 監事
	芝田 努	現職 H24年6月就任
	山田 俊治	現職 H28年6月就任
	北田 千恵	現職 H20年5月就任
	畠山 穂美	現職 H24年6月就任
	小長谷 恭史	現職 H28年6月就任
	井上 美香	現職 H18年5月就任
	山本 功	現職 H29年6月就任
	堂本 育司	現職 H29年6月就任
	阪田 充弘	現職 H29年6月就任
	坂口 圭子	現職 H29年6月就任
	下向 俊夫	現職 H29年6月就任
柏木 克之	現職 H29年6月就任	
横畑 真治	現職 H29年6月就任	
監事	島 久美子	現職 H11年12月就任 一般社団法人共助のまちづくり協会 理事長
	日野 のぞみ	現職 H11年12月就任 NPO 法人子ども NPO 和歌山県センター 理事
	杉原 通男	現職 H28年6月就任
	志場 久起	現職 H28年6月就任 NPO 法人わかやま NPO センター 副理事長

Ⅲ. 職員数及びその増減の状況

区分	前期末人数	当期末人数
常勤職員	54	54
パート職員	96	100
総数	150	154



V. 業務の運営の組織に関する事項

2019年度組織図



VI. 施設の設置状況に関する事項

施設一覧表

施設名	区分	所在地	建物		摘要
			延床面積 (㎡)	事業所面積 (㎡)	
1 事務所					
本部・事務局		和歌山市里 198-1	66	66	※
いっぷく亭 紀和庵		和歌山市中之島 782	119	119	
やまぐちささえ愛センター		和歌山市里 198-3	117	117	※
和我楽の家		紀の川市上野 299-1	90	90	
2 訪問介護事業所					
わかやま訪問介護事業所		和歌山市楠見中 240-49	62	62	
伊都・橋本事業所		橋本市高野口町伏原 243	91	91	
御坊・日高事業所		御坊市蘭 531-7	15	15	
田辺事業所		上富田町救馬溪 185-7	33	33	
3 通所介護事業所					
白浜ぬくもりの里		白浜町才野 1322	220.2	198.5	※
れくらん		和歌山市里 198-2	148.5	148.5	※
4 居宅介護支援事業所					
和歌山ケアプランセンター		和歌山市中之島 758	20	20	
伊都・橋本ケアプランセンター		橋本市高野口町伏原 243			
白浜ケアプランセンター		白浜町才野 1322	220.2	21.7	
5 サービス付き高齢者向け住宅					
かみとんだおたしや館		上富田町生馬 3225-19	416	416	
やまぐちおたしや館		和歌山市里 198-2	553.5	553.5	※
6 就労継続支援B型事業所					
ワークショップとて		和歌山市里 266	93.8	93.8	

・摘要欄の「※」印は自己所有物件

事業報告書の付属明細書

1. 役員報酬等の状況

区分	定款上の定員（人）	支給人員（人）	支給額（円）	摘要
理事	20～30	4	6,071,400	
監事	3～5	0	0	
合計		4	6,071,400	

2. 役員以外の法人等の業務執行責任者兼職状況

※事業報告書「役員一覧表」に記載



第2号議案 2019年度決算ならびに監査報告承認の件

貸借対照表（和歌山高齢者生活協同組合 2020年3月31日現在）単位：円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【113,851,491】	【流動負債】	【51,201,062】
現金・預金	31,885,600	短期借入金	14,000,000
国保未収金	45,556,161	未払金	30,890,028
公費未収金	23,879,482	未払費用	868,470
個人未収金	2,677,287	未払法人税等	722,500
短期貸付金	1,149,866	預り金	1,781,762
仮払金	280,994	仮受金	178,302
前払費用	3,308,444	受入敷金	2,760,000
未収金	2,573,712	【固定負債】	250,953,698
立替金	2,539,945	借入金	164,603,698
【固定資産】	【202,829,119】	組合債権	86,350,000
(有形固定資産)	(174,000,868)	負債合計	302,154,760
建物	108,550,072		
建物附属設備	64,877,128		
構築物	15,234,338		
機械装置	22,626,664		
車両運搬具	3,874,564		
工具器具備品	14,079,605		
減価償却累計額	▲84,487,546		
土地	29,246,043		
(無形固定資産)	(19,482,951)		
借地権	19,307,536		
電話加入権	175,415		
(投資その他の試算)	(9,354,300)		
出資金	215,000		
差入保証金	8,716,000		
敷金	300,000		
預託金	114,300		
【繰延資産】	【754,920】		
水道加入権	754,920		
資産合計	317,435,530	負債・純資産合計	317,435,530

損益計算書（和歌山高齢者生活協同組合 2019/4/1～2020/3/31）単位：円

福祉事業	福祉事業収入	391,035,540	
	福祉事業原価	▲341,501,657	
	福祉事業剰余	49,533,883	
その他事業	家賃など	26,334,737	
事業経費	人件費	▲35,422,903	
	物件費	▲37,468,411	
事業収支			2,977,306
事業外収益	受取利息	41	
	受取配当金	16,075	
	雑収入	7,480,506	
	事業外収益合計		7,496,622
事業外経費	支払利息	▲2,693,404	
	雑損失	▲6,628	
	事業外経費合計		▲2,700,032
経常剰余金			7,773,896
税引前当期剰余		7,773,896	
法人税等		▲722,500	
当期剰余金			7,051,396
前期繰越剰余		▲31,303,626	
当期末処分剰余			▲24,252,230

注記

1. 重要な会計方針にかかる事項に関する注記

1) 固定資産の減価償却の方法

- ・有形固定資産

有形固定資産の減価償却は定率法を採用。ただし、建物及び2008年4月1日以後に取得した資産については定額法を採用。現存会計は未導入。

2) その他決算関係書類の作成のための基本となる重要な事項

- ・消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式を採用。

2. 貸借対照表に関する注記

1) 資産にかかる減価償却累計額

- ・減価償却は間接法により控除。

2) 役員に対する金銭債権又は金銭債務

① 理事に対する金銭債権又は金銭債務

- ・金銭債務 1030万円

② 監事に対する金銭債権又は金銭債務

- ・金銭債務 70万円

3. 損益計算書に関する注記

法人税等

- ・法人税等には、法人税、住民税、地方法人特別税、事業税を含む。

4. 退職給付会計に関する注記

- ・職員の退職により支給する退職給付にあてるために、中小企業退職金共済制度を採用。



決算関係書類の附属明細書

1. 組合員資本の明細

(単位：円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
出資金	38,869,000	950,000	286,000	39,533,000
当期末処分剰余金	▲31,303,626	0	7,051,396	▲24,252,230
合計	8,565,374	950,000	7,337,396	15,280,770

2. 借入金の明細

1) 長期借入金等の増減

(単位：円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
借入金	161,032,767	14,347,800	10,776,869	164,603,698
組合債権	93,850,000	2,000,000	9,500,000	86,350,000
合計	254,882,767	16,347,800	20,276,869	250,953,698

2) 短期借入金等の増減

(単位：円)

短期借入金	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
紀陽銀行	7,000,000	53,974,480	46,974,480	14,000,000

3. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	減価償却累計額	期末取得価額
有形固定資産	建物	86,521,410	1,377,245		6,294,671	81,603,984	26,946,088	108,550,072
	建物附属設備	41,328,706	153,042		4,942,721	36,539,027	28,338,101	64,877,128
	構築物	6,596,074			1,504,558	5,091,516	10,142,822	15,234,338
	機械装置	6,250,338	14,347,800		1,725,145	18,872,993	3,753,671	22,626,664
	車両運搬具	13	450,000		75,000	375,013	3,499,551	3,874,564
	工具器具備品	3,380,861			1,108,569	2,272,292	11,807,313	14,079,605
	土地	29,246,043				29,246,043	0	29,246,043
	建設仮勘定							
	計	173,323,445	16,328,087		15,650,664	174,000,868	84,487,546	258,488,414
無形固定資産	借地権	19,307,536				19,307,536		19,307,536
	電話加入権	175,415				175,415		175,415
	計	19,482,951				19,482,951		19,482,951

4. 関係団体等出資金の明細

(単位：円)

出資金先	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
日本高齢者生活協同組合連合会	200,000	0	0	200,000
和歌山県生活協同組合連合会	5,000	0	0	5,000
近畿労働金庫	10,000	0	0	10,000
合計	215,000	0	0	215,000

5. 事業経費（一般管理費）の明細

※事業経費は、本部人件費及び物件費、法人全体にかかる管理費用を指します。

(単位：円)

科目	金額	備考
1 人件費		
役員報酬	6,071,400	役員に対して支給する報酬
職員給与	14,788,445	常勤職員への給与
パート給与	1,154,305	パート職員等への給与
賞与	2,527,188	職員に支給する賞与
退職金	800,000	退職金
退職給付費用	3,540,000	中小企業退職金共済の掛金
法定福利費	6,335,741	社会保険料、労働保険料など
福利厚生費	205,824	健康診断費用、懇親会費など
人件費合計	35,422,903	
2 物件費		
外注費	301,734	作業所などへの作業外注の費用
旅費交通費	1,329,830	職員の通勤交通費、出張旅費など
通信費	1,667,251	電話代、郵便代など
交際費	138,571	対外的な交渉にかかった費用
減価償却費	15,650,664	建物、車両、備品などの償却費用
リース料	4,896,596	パソコン、介護ソフト、車両のリース料
保険料	1,518,448	賠償責任保険、車両保険など
修繕費	390,553	施設や備品の修理費用など
水道光熱費	336,482	電気代、水道代など
デイ他介護費用	67,280	体操用具など購入費
消耗品費	1,331,600	10万円未満の物品に関する費用
租税公課	255,150	固定資産税、自動車税、印紙税、消費税など
運賃	14,408	メール便費用
会議費	1,367,674	総代会、機関会議などに関する費用
事務用品費	182,540	文具、用紙など事務消耗品など
広告宣伝費	194,543	広告、宣伝にかかる費用
支払手数料	2,445,959	業務委託費用、振込手数料など
諸会費	1,357,045	各連合会、各種団体の会費
新聞図書費	164,370	新聞代、書籍代
研修採用費	166,940	職員の研修や採用にかかる費用
車両運搬費	224,949	車両に関する燃料費、維持費など
地代・家賃	2,232,000	事業所などの家賃等
委託費	328,004	会計・労務管理業務の一部委託
地域支えあい費用	771,548	紀和庵の物品代など
水道加入権償却	71,400	
雑費	25,691	上記以外の事業に関する費用
物件費合計	37,468,411	
事業経費合計	72,891,314	

6. 事業の種類ごとの損益の明細

1) 事業別損益計算書

(単位：円)

	介護保険事業			介護保険以外	その他独自事業	合計
	訪問介護	通所介護	居宅介護支援	障害者自立支援	家賃など	
I 福祉事業収入						417,370,277
1 介護報酬収入	159,388,298	84,746,044	51,279,751			295,335,672
2 自立支援費収入				95,699,868		95,699,868
3 福祉住宅事業収入					26,334,737	26,334,737
II 福祉事業費用	130,112,131	69,324,836	42,004,703	78,203,879	21,514,604	341,501,657
1 人件費	107,860,633	57,469,051	34,821,149	64,829,619	17,835,222	283,098,776
2 物件費	22,251,497	11,855,784	7,183,554	13,374,259	3,679,381	58,402,881
福祉剰余金	29,276,167	15,421,208	9,275,048	17,495,989	4,820,133	49,533,883
III 事業経費	27,757,424	14,789,388	8,961,058	16,683,596	4,589,810	72,854,133
1 人件費	13,496,126	7,190,849	4,357,017	8,111,844	2,231,642	35,422,903
2 物件費	14,275,464	7,606,087	4,608,614	8,580,266	2,360,509	37,468,411
IV 事業外収益	2,856,212	1,521,814	922,084	1,716,726	472,287	7,496,622
1 受取利息など	6,140	3,271	1,982	3,690	1,015	16,116
2 雑収入	2,850,072	1,518,542	920,102	1,713,035	471,271	7,480,506
V 事業外費用	1,028,712	548,106	332,103	618,307	170,102	2,700,032
1 支払利息	1,026,186	546,761	331,288	616,789	169,684	2,693,404
2 雑損失	2,525	1,345	815	1,517	417	6,628
経常剰余金	2,961,854	1,578,100	956,189	1,780,222	489,755	7,773,896
税引前当期剰余金	2,961,854	1,578,100	956,189	1,780,222	489,755	7,773,896
法人税等	275,272	146,667	88,867	165,452	45,517	722,500
当期剰余金	2,686,581	1,431,433	867,321	1,614,769	444,237	7,051,396

2) 福祉事業経費明細表

(単位：円)

科目	金額	備考
1 人件費		
職員給与	130,231,834	常勤職員への給与
パート給与	86,357,734	パート職員等への給与
賞与	37,620,697	職員に支給する賞与
法定福利費	27,630,911	社会保険料、労働保険料など
福利厚生費	1,257,600	健康診断費用、懇親会費など
人件費合計	283,098,776	
2 物件費		
外注費	280,000	作業所などへの委託費用(てとでの利用者工賃含む)
旅費交通費	6,126,449	職員の通勤交通費、出張旅費など
通信費	2,043,561	電話代、郵便代など
リース料	3,817,453	パソコン、介護ソフト、車両のリース料
修繕費	1,367,226	施設や備品の修理費用など
水道光熱費	7,652,891	電気代、水道代など
デイ他介護費用	5,730,070	デイ・住宅の食事代など
消耗品費	1,661,337	10万円未満の物品に関する費用
事務用品費	1,743,631	文具、用紙など事務消耗品など
車両運搬費	3,174,087	車両に関する燃料費、維持費など
地代・家賃	14,512,272	事業所などの家賃等
その他物件費	10,293,904	上記以外の事業に関する費用
物件費合計	58,402,881	
福祉事業経費合計	341,501,657	

7. その他の決算関係書類の内容を補足する重要な事項

1) 主要な資産の内容

① 現金預金の明細

(単位：円)

内訳	期首残高	当期末残高	当期増減額
現金	1,717,350	1,616,362	▲100,988
普通預金	33,634,651	30,269,238	▲3,365,413
合計	35,352,001	31,885,600	▲3,466,401

② 未収金の明細

(i) 内訳

(単位：円)

内訳	金額
国保連合会未収金	45,556,161
公費未収金	23,879,482
個人未収金	2,677,287
合計	72,112,930

(ii) 回収状況

(単位：円)

期首残高	当期発生額	当期回収額	期末残高	回収率
58,781,131	400,011,134	386,679,335	72,112,930	96.7%

③ 差入保証金の明細

(単位：円)

差入先	金額
やまぐち事業所 (山口英三)	8,000,000
その他	716,000
合計	8,716,000

④ その他資産の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期末残高	当期増減額
仮払金	477,994	280,994	▲197,000
前払費用	3,570,852	3,308,444	▲262,408
未収金	2,161,134	2,573,712	412,578
立替金	2,462,855	2,539,945	▲77,090

2) 主要な負債の内容

① 未払金の明細

(単位：円)

相手先	金額
給与	16,444,742
社会保険料	6,054,985
組合債未払利息	3,289,140
その他	5,101,161
合計	30,890,028

② 未払い法人税等の明細 (単位：円)

内訳	金額
法人税 (均等割分)	722,500
合計	722,500

③ 未払い費用の明細 (単位：円)

内訳	金額
電話代水光熱費など	483,682
紀和味善	183,384
その他	201,404
合計	868,470

④ その他負債の明細 (単位：円)

科目	期首残高	当期末残高	当期増減額
預り金	1,161,143	1,781,762	620,619
仮受金	149,795	178,302	28,507
受入敷金	2,760,000	2,760,000	0



キャッシュフロー計算書

2019/4/1～2020/3/31 (単位：円)

I 事業活動によるキャッシュフロー		
税引前当期剰余金		7,773,896
減価償却費		15,722,064
受取利息		41
支払利息		2,693,404
売上債権の増加		▲13,331,799
未払金の増加		31,758,498
その他資産・負債の増減		
小計		9,881,755
法人税等の支払額		755,000
事業活動によるキャッシュフロー		9,126,755
II 投資活動によるキャッシュフロー		
有形固定資産の取得による支出		▲16,328,087
無形固定資産の償却による収入		0
繰延資産の増加による支出		0
投資活動によるキャッシュフロー		▲16,328,087
III 財務活動によるキャッシュフロー		
出資金の増加による収入		950,000
出資金の減少による支出		▲286,000
組合債権の増加による収入		2,000,000
組合債権の減少による支出		▲9,500,000
借入金の増加による収入		68,322,280
借入金の返済による支出		▲57,751,349
受入敷金の増加による収入		0
差入保証金の増加による収入		581,000
財務活動によるキャッシュフロー		4,315,931
IV 現金及び現金同等物の増加額		▲3,466,401
V 現金及び現金同等物の期首残高		35,352,001
VI 現金及び現金同等物の期末残高		31,885,600

(注) 現金及び現金同等物の範囲

項目	期首	期末
現金・預金	35,352,001	31,885,600
現金及び現金同等物	35,352,001	31,885,600

監査報告書

2020年6月13日


和歌山高齢者生活協同組合
第21回通常総代会御中

和歌山高齢者生活協同組合

特定監事 志場 久起 

監事 島 久美子 

監事 杉原 通男 

監事 日野 のぞみ 

I、監査の概要

私たち監事は、定款第36条にもとづき、当組合の2019年度(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の決算関連書類(貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案)、事業報告書、附属明細書、理事の業務執行状況、理事会の開催状況、及び総代会提出議案・書類について監査を行った。

II、監査結果

1、決算関連書類等について

- (1) 事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当組合の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 決算関係書類及びその附属明細書は、当組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において、適正に示しているものと認める。
- (3) 損失処理に関する議案は、法令及び定款に適合しており、当組合の財産の状況に照らして適正であると認める。

2、理事の業務執行、理事会の開催状況について

- (1) 理事は、法令・定款・規約に従い、総代会において決定された事業計画に基づいて職務を遂行しているものと認める。
- (2) 理事会は、定期的で開催されており、適正な運営がなされているものと認める。

3、総代会提出議案・書類について

総代会に提出するすべての議案・書類は、法令・定款に適合しているものと認める。

以上

第3号議案 2019年度損失処理案承認の件

(単位：円)

		金額
I	当期末処理損失金 (うち、当期純剰余金)	▲24,252,230 (7,051,396)
II	次期繰越損失金	▲24,252,230

第4号議案 2020年度事業計画承認の件

〔総論〕

高齢期の不安がつかない時代。安心して、やりがいをもって高齢者になることが難しくなっている時代。

一人ではできないことが多くても、力を寄せ合って、つくていく。誰かのためにという思いを持った方と一緒に、ニーズを探し、方法を考え、形をつくていく。有益な情報をよせあい、人と人がつながり、場所であつまり、協同の輪をつくていく。こうした挑戦を大いに繰り返して、先行事例、成功事例に学び、和歌山らしい持続可能な活動をつくりだしていきます。

設立時の原点にたちかえり、20年でつちかった財産をいかし、「高齢者総合サービス業（仮称）」へと転換をはじめたい。高齢者の暮らしと生活の改善は、地域共生として、障害のある方、困窮世帯など困りごとを抱える方と確実につながりながらすすめていきます。全国には多様な事例が既に存在します。日本高齢者生活協同組合連合会に加盟する各高齢協と交流し、ノウハウや情報の収集につとめ、新しい実践をすすめていきます。

1 事業・経営の計画



〔1〕 介護・福祉事業

- (1) 大きな事業投資はおこなわず、2020—2021年度で累積赤字を解消します。
財政の信頼性を高め、融資を受けやすくして、2年後をめどに、新規事業を順次おこなえる準備をおこないます。（伊都橋本エリアでの障害福祉サービスが最も有力です。他には、白浜エリアでの住まいづくり、和歌山エリアの第2総合拠点整備、中紀エリアの障害福祉サービスなどがあげられます）
- (2) サービス改善のため、働きやすい職場づくりのため、経営改善のため（利用者によるこばれるサービスのあり方を充実し、同時に職員、経営を守るバランスをはかる）に、それぞれの事業所目標を着実に前に進めます。同時に、コンプライアンスの点検により、日常業務の改善も重視します。
- (3) 補助金や助成金を積極的に活用し、時代の要請にこたえられる事業運営体質を目指します。

〔2〕 ケアの質の向上

- 利用者中心のケアであること。その価値観は、時代によって変わっています。現代から将来にむけて、大切にされる価値を学習や話し合いからはぐくみ、勇気をもってチームワークで実践します。その経験を全職員研修などで共有し、どんどん新しい実践が生み出される土壌をつくります。

〔3〕高齢者総合サービス検討推進プロジェクト の設置

(1) 県下 5 拠点のお助け隊の本格再開。

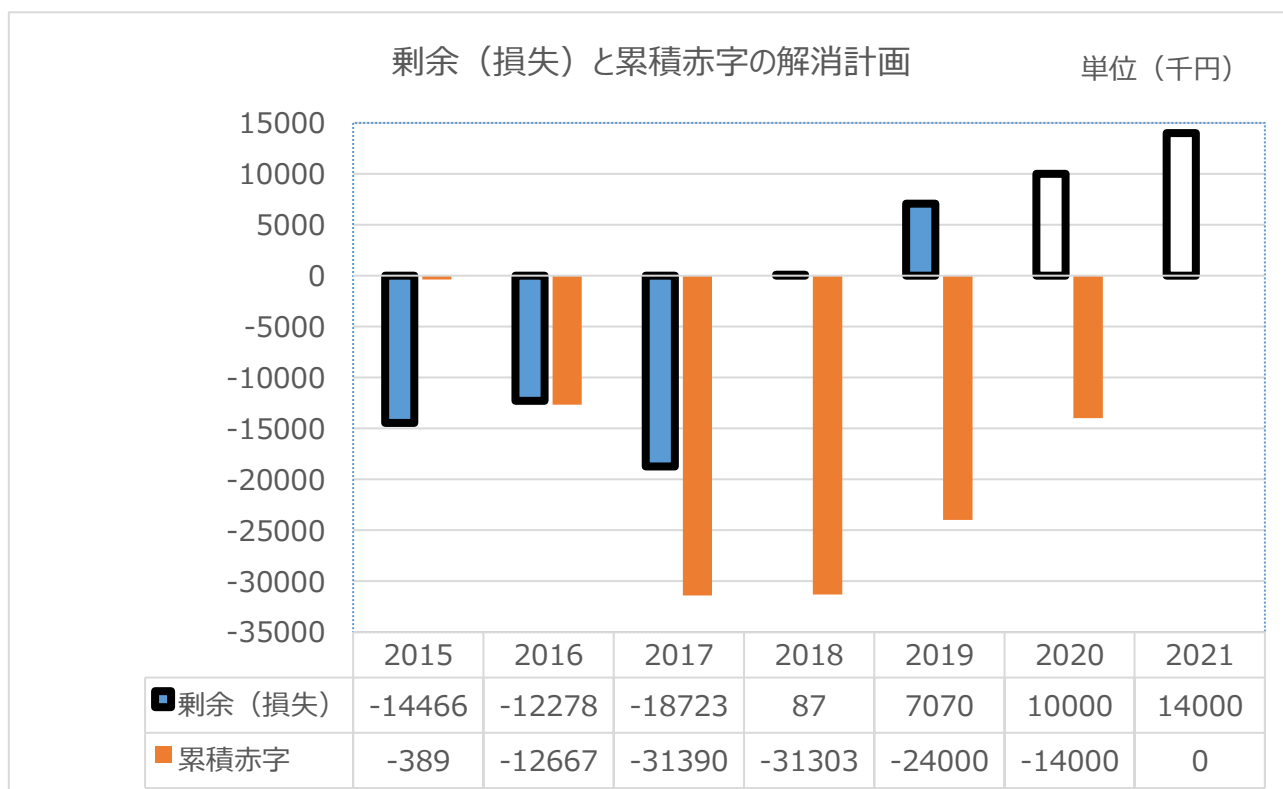
組合員限定のサービスとして、提供体制の充実をはかり、持続可能な事業として基盤を構築します（雇用労働ではなく、有償ボランティアで、助け合い精神を基盤とする。保険加入し、責任範囲を明確にする等）。隊員募集のルート開発、隊員の研修体制、プロの協力業者体制、お助け隊の県下ネットワークと本部機能の連携、作業ノウハウの伝承などの課題克服を目指して、様々な企画を行います。

(2) 高齢者総合サービス検討推進プロジェクトを設置し、（介護福祉サービス以外の）生活支援、夢ある事（かつてのコッコプロジェクトや塩づくりのような）、終活相談、成年後見や財産管理など、事業活動につながるものを検討します。①アンケート、②ワークショップ、③視察、④モデル事業のサイクルですすすめます。

新型コロナウイルスにより、これから苦しい経済状態が予測されます。困難の克服に、ますます組合員の活躍が期待されます。多くの組合員、職員、他団体からも仲間を招いて、みんなの知恵と工夫で取り組みます。

〔4〕経営目標

- 事業高目標 4 億 2 6 7 7 万円（1 9 年度比 1 0 2. 2 %）
- 剰余目標 1 0 0 0 万円



〔5〕 事業所概況（一覧）

事業所名	主なサービス種類	特徴
和歌山ケアプランセンター	居宅介護	7名体制。働きやすい就業環境を促進。
伊都・橋本ケアプランセンター		1名体制。下半期1名増員。
白浜ケアプランセンター		3名体制。下半期1名増員で特定加算Ⅱ取得。
わかやま訪問介護	訪問介護	1月よりやまぐち分離▲450万。1名増員。
伊都・橋本事業所		次サービスの開発（障害分野）。
御坊・日高事業所		定められた業務の徹底。書類、環境整備。
かみとんだおたっしゃ館	サ高住（訪問）	1名増員により定着率の改善。
やまぐちおたっしゃ館	サ高住	1月訪問の立ち上げ。厨房改革。
白浜ぬくもりの里	デイサービス	ミーティングの定例開催。研修参加を増やす。
れくらん		水曜営業の定着、月300万達成。
ワークショップととて	障害者就労継続支援B型	ささえ愛を就労拠点に活用。サビ管養成。
本部	本部機能	働きやすく魅力ある職場づくりへ具体化。

2 組織・運動の計画

〔1〕 20周年記念事業の仕上げ／通信増刊

- (1) 多くの方に支えていただいた感謝と20年間の到達を記し、そしてこれからの高齢協のあり方への決意を込めて、書籍の刊行をおこないます。
- (2) 組合員の今を伝え、交流を活性化します。
まだ組合員でない方にも、高齢協の魅力を知ってもらうために通信の増刊を行います。組合員からの持ち込み企画も歓迎です。組合員に根差した高齢協のあり方を実現していきます。

〔2〕 やまぐちささえ愛センターの第2次展開計画

- (1) 5年ではぐんだ多くの利用者、地域との関係性を財産にして、次の展開に挑戦します。
赤字運営のささえ愛センターの持続可能なあり方を追求します。24時間365日安心して元気な場所に。ユニークな企画をおこなって知名度の向上、ターゲットを会社員、若者、主婦層にもひろげます。職員の専門性をいかして、組合員、地域向けの勉強会や交流の機会の充実など、多様な主催企画を実験的に打ち出します。

(2) センターの実践を核(点)に、線へとつないでいきます。

すでに各地域にある居場所、サロンとつながり、人財や物資、ノウハウの交流。また、空き家、空き部屋をサロンにするスタートアップを応援し、歩きや自転車で通える組合員の居場所づくりをすすめます。通信で呼びかけをおこない、ポストインで仲間づくりをすすめます。

〔3〕 地域活性

●イタドリをキーワードに、白浜と橋本の組合員が、地域の課題に取り組んでいます。

6次産業による加工品販売やレストラン運営で、新しい雇用が生まれ、地域活性化につながります。各団体と連携し、持続可能なスタイルを構築するために多くの試行錯誤も必要となります。活動資金の一部援助や、貸付、情報の交流など多面的に活動を支援します。

〔4〕 平和と人権を守る

●「平和」、「人権」、「社会保障」をテーマに、学びを深め、改善に向けて働きかけをおこないます。

通信で正しい情報をお伝えし、学習をふかめ運動の底力を強めます。連合会や運動団体、各高齢期運動連絡会と連携し、署名や意見表明で高齢者の声を伝えます。

〔5〕 組合員・出資目標

- 組合員の加入到達目標 4,459名 (19年度比+200名)
- 出資金の到達目標 4,053万円 (19年度比+100万円)
- 住所不明組合員について、今年度中に、みなし自由脱退手続きを、法令定款にしたがって行います。

3 管理・運営の計画

〔1〕 職員処遇の見直し

●職員の高年齢化による退職が増えています。

事業の維持すら困難が増す中で、多世代が働きやすく魅力的な処遇について、研究検証をすすめます。財源は処遇改善加算をあて、とくに売り上げの6割をしめる訪問介護事業では、人材確保策を強化する民間事業者との差がひろがりつつあり、対策を急ぐ必要があります。

〔2〕 ハラスメント対策

●介護福祉職員に対するハラスメント対策。

利用者、家族からのハラスメント経験にあったのは54%にもものぼるといわれています。「うまくかわすのがプロ」「少くくらは我慢」「報告してはいけないと思った」ではなく、毅然とした関係性の構築にむけて、契約書類の整備、教育研修による周知、問題発生時のフローチャート、役割分担などを整備し安心して働き続けられる職場環境を目指します。

〔3〕 ICT 活用の充実

- 新型コロナウイルスへの対策としても有効な ICT 活用を推し進めます。

様々な障害（移動、対面、情報共有）をこえ、新しい便利な場をつくっていく契機にします。一説によると、デジタルデバイスは高齢者と相性が良いといわれています。全国に成功事例もたくさんあります。災害対策としても期待できます。また、低額の費用で日常業務の効率性が増すデュアルモニター（2つのモニター）を順次導入します。

ハード整備：各拠点をつなぐ会議システムの構築。テレワーク環境、オンライン面会の環境整備。

〔4〕 災害時、非常時に初期対応できる備蓄と働き方の開発、定着。

- 災害訓練、備蓄体制は十分とは言えません。

「ノー電気デー」「ノー水道デー」など、不自由な環境下に対応できる防災訓練を実施します。

一週間の初期対応を目標に、県下の各拠点の備蓄を点検補充します。防災倉庫の設置も順次すすめます。新型コロナウイルス対応で、一部で導入したテレワーク環境の適用拡大をおこないます。

第5号議案 2020年度収支予算決定の件

項目	科目	金額	(円)
	介護保険事業	292,214,560	
	障害者総合支援事業	97,720,000	
	福祉住宅事業	27,270,000	
	委託金収入	9,565,600	
福祉事業収入		426,770,160	
	福祉事業人件費	293,158,300	68.7%
	福祉事業物件費	54,533,280	12.8%
福祉事業原価		347,691,580	81.5%
福祉事業剰余金		79,078,580	
	役員報酬	6,600,000	
	職員給与	9,618,069	
	パート給与	1,233,855	
	賞与	2,422,988	
	退職給付費用	3,498,000	
	法定福利費	3,883,969	
	福利厚生費	183,276	
人件費合計		27,440,157	6.4%
	外注費	501,134	
	旅費交通費	1,209,040	
	通信費	1,714,124	
	交際費	438,571	
	減価償却費	14,400,000	
	リース料	5,553,410	
	保険料	1,425,930	
	修繕費	390,053	
	水道光熱費	388,389	
	消耗品費	1,810,769	
	租税公課	255,750	
	運賃	15,104	
	会議費	1,736,800	
	事務用品費	995,531	
	広告宣伝費	193,900	
	支払手数料	3,515,124	
	諸会費	1,166,945	
	新聞図書費	164,033	
	研修費採用費	277,440	
	車両運搬費	224,849	
	地代家賃	2,472,000	
	委託費	328,004	
	地域支え合い費用	3,281,009	
	雑費	2,035,691	
物件費合計		44,560,880	10.4%
事業剰余		7,077,543	
事業外収益		5,558,243	
事業外費用		2,582,879	
経常剰余金		10,052,907	2.4%

第6号議案 2020年度役員報酬決定の件

2020年度の役員報酬については、下記を総額の範囲とし、この範囲内における各役員への報酬、支給方法等については、理事会にご一任ください。

理事報酬	総額	1500万円以内
監事報酬	総額	20万円以内

第7号議案 議案決議効力発生の件

総代会において議決された事項の字句・文言について、趣旨を損なわない範囲で修正することを、理事会に一任します。

